

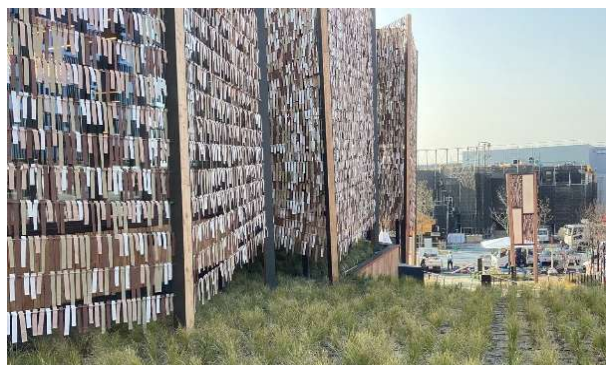
ハンガリーパビリオン

【基本設計】Zoboki Design And Architecture 【実施設計】株式会社 綜企画設計



ハンガリーパビリオンの特徴は、建築とランドスケープを融合させ、ハンガリーの神秘的な森林を表現したデザインにある。

木質化されたファサードを覆う「ひらひら」シェードは、木々の葉のゆらぎを表現し、建物奥に配置された螺旋状の「木リング」は、カルパチア盆地の干し草の山をイメージしている。



建物を覆うように取り付けられた「ひらひら」シェード

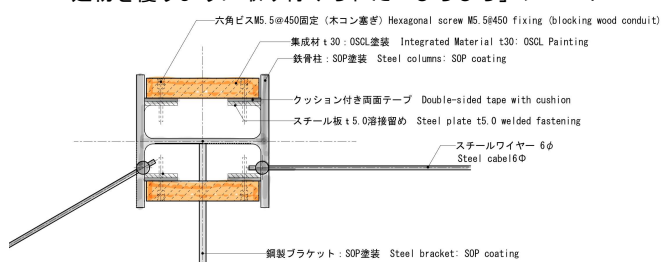
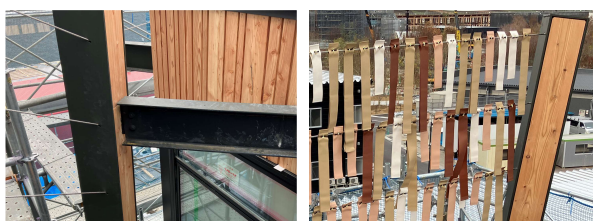


図-1 ワイヤー固定方法（設計時）

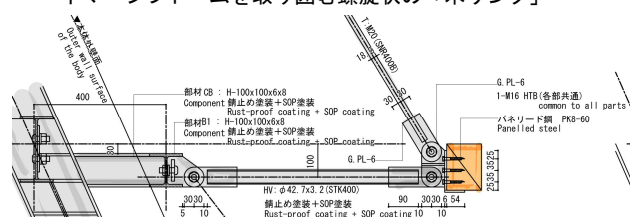
外壁の周囲に建てられた鉄骨柱のフランジにワイヤーを設置しテンションをかける（図-1）。



ワイヤーに取り付けられた短冊状tent素材の「ひらひら」



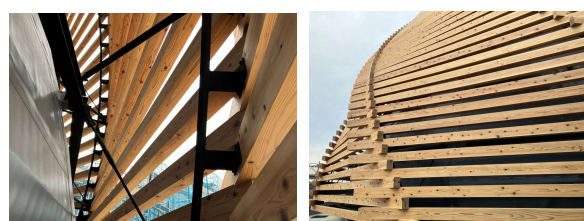
イマーシブドームを取り囲む螺旋状の「木リング」



株式会社 UENO architects 協力

図-2 木リング固定方法（設計時）

木リングを支持するための鉄骨梁に、木リングの形状に合わせた下地金物を設置する（図-2）。



木材を螺旋状かつ円錐台に組み上げられた「木リング」

ハンガリーパビリオンは、ハンガリーの歴史と文化を肌で感じることができる体験型施設です。ドーム内では、幻想的な演出による没入感あふれる体験が楽しめるほか、「ミシュカキッチン&バー」では本場の伝統的なハンガリー料理を味わうこともできます。

当施設の適判審査は、（一財）日本建築総合試験所が実施しました。